

第5回 被災地に学ぶ生きる力プロジェクト

～私たちができることは何か～

平山中学校

《話し合いの内容について》

人とのつながりが深い市にするためには…

全世代の人に日野を知ってもらうには…

そのために私たちが取り組みたいことは何か…

私たちがこれから取り組みたいこと

- ・パンフレット、ポスターの作成、設置（全世代）
- ・イベントの実施（小学生～高校生）
- ・観光ツアー（高齢者）
- ・動画の作成（若い人）
- ・小さい子供に向けての情報の発信（小さい子）

これからの日野をつくっていくのは私たちや私たちより小さな子たち。そのため、日野の伝統を受け継ぐのはもちろん、これから日野をどう発展させていけばいいのかを考えていかなければいけません。また、日野を発展させるには、市の人口を増やさなければなりません。そのためには、たくさんの人に日野に住みたいと思ってもらうことが必要です。住みたいと思う町とは、安全で、地域の人とのつながりが深い町だと私たちは考えました。

平山中学校で取り組みたいこと

- ・あいさつ運動（PTAの方などに参加していただく）
- ・イベント（スタンプラリー、ウォークラリー）
- ・地域の人への読み聞かせ
- ・地域懇談会

パンフレット、ポスターの作成

《載せる内容》

- ・ 新選組について（新選組の歴史について知ってもらう）
- ・ 特産物について（地産地消を目指す）
- ・ イベント、ボランティア活動のお知らせ
- ・ 募金活動の呼びかけ

➡図書館、学校など公共の場に貼る。

➡日野市についての知識を深めてもらえる。また、地域でのボランティア活動やイベントに来てもらえるよう、呼びかけることができる。

＝まずはたくさんの地元の人に見てもらえる。

イベントに来る人増加

➡たくさんの人と交流し、深いつながりを持つことができる！

イベントの実施

- ・ウォークラリー（災害時に危険になりそうな場所を歩く）
- ・スタンプラリー（一人暮らしの老人の家を訪問し、日野の歴史などについて教えてもらい、スタンプをもらう。）
- ・地域懇談会（地域の人と交流する）
- ・クイズ大会（防災、歴史、環境などについてのクイズを出す）
- ・中学生の講演
- ・ゲーム、アプリの制作

講演の場合...

- ・ただ講演を聞くだけでは集中して聞くとは限らない。
 - ・知識も増えない可能性が高い。
- ➡ゲーム形式や体を動かしながら学んだほうが子供たちは楽しみながら知識を増やし、深めていける。

観光ツアー

- ・ウォークラリーなどで見つけた景色のきれいな場所や歴史ある場所を案内する
- ・はとバスでツアー
- ・日野に住んでいる私たちだからこそ知っているスポットを案内する

➡ 私たち自身にも新たな発見があるかもしれない。

住みたい町＝「素敵だな」「この場所が気に入った」などと思う町。

そう思ってもらえるような場所はきっとたくさんあるはず。

➡ 私たち日野市民が少しでも多くの人に伝えていかなければいけない。

ツアー中にいろんな人と話すことで、つながりが深くなる...！

動画の作成

- ・日野のPR動画の作成
- ・スライドショーの作成

若い世代の人は、あまり講演などを聞きに行けない、行かない。

通勤時間中など、少しの時間で知識を増やせたら...

そこで...YouTubeやTwitterなど、SNSで拡散

➡市内だけではなく、全国の人が見ることができ、日野市について、
多くの人に知ってもらえることができる。

➡日野市に興味を持ってもらえるかも...

小さい子供に向けての情報発信

- ・紙芝居の制作、発表（新選組誕生の物語など）
- ・劇（観客参加型）
- ・クイズ
- ・クイズラリー

これからの日野をつくっていく小さい子供たちにも日野について知ってもらい、未来の日野を発展させていくための材料にしてほしい！

しかし...

小さい子に伝えるためには工夫して分かりやすく伝える必要がある。

→劇、クイズ大会（児童、生徒向けより難易度低く）などで伝える！